

東京都庭園美術館

事業名	会期	概要
<p>アール・デコ・リヴァイヴァル！</p> <p>【2展同時開催】 ・「建物公開 旧朝香宮邸物語」</p> <p>・「鹿島茂コレクション フランス絵本の世界」</p>	<p>平成30年3月21日～6月12日</p> <p>20時まで特別開館： 3月23日、24日、30日、31日、4月6日、7日</p>	<p>・建物公開 旧朝香宮邸物語</p> <p>昭和8年(1933年)に宮家の邸宅として誕生し、戦後は、吉田茂外務大臣(兼首相)時代の公邸や迎賓館として活用され、歴史の重要な舞台ともなった旧朝香宮邸。激動の時代の趨勢を見つめてきた建築空間で、この地を往来した人々の記憶と重ね合わせながら、アール・デコ建築の魅力をご堪能下さい。</p> <p>・鹿島茂コレクション フランス絵本の世界</p> <p>フランス文学者・鹿島茂氏が所蔵するフランスの絵本コレクションを初公開する展覧会。端正な挿絵を描いたモンヴェル、アール・デコ全盛期に活躍したアンドレ・エレ、ロシア出身の画家ナタリー・パラン等、19世紀半ばからアール・デコ時代に至る黄金期のフランス絵本の世界をご紹介します。</p>
「ブラジル先住民の椅子」展	<p>平成30年6月30日～9月17日</p> <p>21時まで特別開館： 7月20日、27日、8月3日、10日、17日、24日、31日</p>	<p>動物のフォルムに独特な幾何学模様が施された木の椅子は全て、接ぐことなく一木から彫り出されています。儀礼用に作られた道具は、やがて外界との接点を経て「見られる」ものへ変容していきます。ブラジル・サンパウロの出版社であるBEIのコレクション約90点の椅子を展示します。</p>
「アール・デコと異境への眼差し」展	<p>平成30年10月6日～平成31年1月14日</p> <p>20時まで特別開館： 11月23日、24日、30日、12月1日、7日、8日</p>	<p>アール・デコは、非ヨーロッパ圏の文化・美術からその美意識と造形に大きな影響を受けました。本展では、1931年のパリ植民地博覧会など、同時代の関心を織り込みながら、ファッションや様々な工芸、そしてアフリカやインドシナで制作された絵画、彫刻など、約85点を紹介します。</p>
「岡上淑子 コラージュの世界」展	<p>平成31年1月26日～4月7日</p> <p>20時まで特別開館： 3月29日、30日</p>	<p>1950年代に彗星のごとく登場した岡上淑子は、日本のシュルレアリスム運動を主導した瀧口修造に見出され、その才能を開花させました。戦後復興期の東京で入手した、グラフィック雑誌の写真画像を切り抜いて制作したコラージュ作品は独特の美しさを湛え、今や国際的な評価を得ています。本展では、国内に所蔵されている約80点の作品を中心に、その活動の軌跡を展覧します。</p>

※この内容は平成30年3月7日現在のものです。事業名は変更する場合がございます。会期は予定です。
詳細は東京都庭園美術館広報担当までお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

東京都庭園美術館
〒108-0071 港区白金台5-21-9
電話 03-3443-0201 FAX 03-3443-3228
<http://www.teien-art-museum.ne.jp/>

※ 開館時間：10時～18時(夏休み期間の金曜日は「サマーナイトミュージアム」実施のため21時まで開館)
※ 休館日：第2・第4水曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館)